

冬季特有の労働災害を撲滅しましょう！

～ 冬季における労働災害防止について～

例年、冬季間には積雪や凍結路面、寒冷等を原因とする転倒・墜落・交通事故・一酸化炭素中毒・除雪中の事故などのいわゆる「冬季特有の労働災害」が多発します。本格的な冬を迎える前に、それぞれの労働災害の発生状況・対策を確認し、冬季特有の労働災害防止対策を講じましょう！

1 転倒災害

時期や業種に関わらず、年間を通して最も多い災害です。また、休業日数が長くなりやすいことも特徴です。特に冬季においては転倒の要因(積雪・凍結など)が増えるため、十分な対策が必要です。それでは、過去の労働災害事例を見てみましょう。



発生地	業種	発生月 (発生時間)	発生状況 (傷病名、休業期間)
佐渡市 両津	社会福祉 施設	12月 (午前8時)	出勤後、駐車場から事務所へ歩いていったとき、融雪した路面(駐車場内)に足を滑らせ転倒した。 (足首骨折、2週間)
佐渡市 佐和田	製造業	1月 (午前9時)	敷地内でスリップしたトラックを何名かで押したとき、雪で滑り転倒した。 (腰部骨折、1か月)
佐渡市 新穂	小売業	2月 (午前8時)	商品を顧客先に配達する際、地面が凍結していることに気づかず、足を滑らせて後ろ向きに転倒し、地面に肘を強打した。 (肘骨折、2週間)

～ 対策を確認しましょう！～

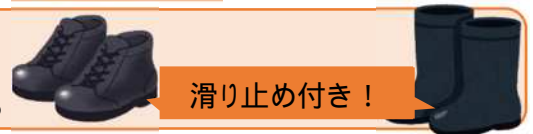
適切に除雪していますか？

- ・通路や作業面の除雪を励行し、凍結防止対策(融雪剤、砂の散布等)を講じましょう。
- ・建物の出入り口には、雪などを除去するためのヒートマット等を備えましょう。



滑りにくい履物を着用していますか？

- ・滑り止めが備わった安全靴や長靴を着用しましょう。



危険な歩き方はしていませんか？

- ・ポケットに手を入れたまま歩行しない。
- ・小さな歩幅で歩きましょう。



危険箇所を把握していますか？

- ・敷地内、駐車場、出入口等の滑りやすい場所を確認しましょう。
- ・「危険マップ」を作成する等により労働者に周知しましょう。

暗くて足元が見えづらい箇所はありませんか？
表示物の掲示も有効です。



STOP! 転倒災害プロジェクト

STOP 転倒災害

検索



新潟労働局 佐渡労働基準監督署

2 除雪車との接触災害

冬季は積雪により除雪車や除雪機を使用する機会が増えます。県内でも除雪車との接触災害は毎年発生しています。

降雪の中での除雪作業は視界不良のため、除雪車近くの作業員を巻き込む災害が多発します。県内では下記の労働災害事例のような死亡災害も発生していますので、十分に注意しましょう。



発生地	業種	発生月 (発生時間)	発生状況
新潟県	建設業	1月 (午前10時)	除雪車のロータリー部を回転させたまま停車させ運転席を離れ、再び運転席に座ろうとしたとき、走行レバーに触れ、前進した除雪車のロータリー部近くにいた作業員が巻き込まれた。(1名死亡)

～対策を確認しましょう！～

作業指揮者を選任していますか？

作業方法・作業計画を決め、作業者間で協議しましたか？

十分な人数を確保し、連絡員の配置、長時間労働による健康障害防止に配慮していますか？

適した服装・ヘルメットは必ず着用していますか？

必要に応じて誘導員を配置していますか？
(誘導員には、運転者が容易に認識できる色彩の服装が有効です)

運転者が除雪車を離れるときは、不意の起動を防止するため、鍵を抜いていますか？

一人作業を行わせていませんか？



3 新潟県内の事業場における冬季特有の死亡災害事例

発生地	業種	発生年月 (発生時間)	事故の型	発生状況
新潟県	運送業	平成29年 2月 (午前5時)	交通事故	時速約60kmでカーブに差しかけたとき、中央線をはみ出してしまい、対向車と正面衝突した。当時、路面が凍結しており、車体がスリップしたと思われる。(相手含む2名死亡)
新潟県	建設業	平成22年 1月 (午前9時)	一酸化炭素中毒	除雪作業の待機中、駐車場の自車内にてエンジンをかけたまま休憩していたところ、排気ガスが逆流し、一酸化炭素中毒により死亡した。(1名死亡)